

有磨学区まちづくり推進委員会

委員長 江草 和広

（問合せ先） 084-958-3849（有磨公民館）

事業内容

- （1） 魅力ある地域づくり事業
日本の歴史&防災を学ぶ
岩国市『錦帯橋&岩国城』
『岩国防災館（いわくに消防防災センター）』
（11月29日） 錦帯橋ほか
- （2） いきいきふれあい交流事業
そとまちロードウォーキング
（11月29日） 岩国城下
- （3） 地域ぐるみの生活安全・環境事業
防災学習：いわくに消防防災センター
（11月29日） 岩国防災館
環境ポスター作成・学区内掲示
（2月） 学区内ごみステーション
芦田大谷砂留整備作業
（11～3月） 砂留周辺
- （4） 広報誌発行事業（年3回） 有磨公民館
- （5） コミュニティ育成事業
地域一斉清掃・地域交流行事など（通年）
- （6） まちづくり推進委員会運営事業（通年）
善行市民表彰の推薦と善行学区民表彰
選挙啓発

📍 錦帯橋



📍 地震体験



📍 ウォーキング



📍 いわくに消防防災センター

成果

協働のまちづくりの推進の向け、新型コロナ感染防止対策を行い、安全を確保しながら、可能な限り行事を行うことができた。

課題

高齢者の割合が高い地域のため、感染リスクを考えると行事の実施は苦渋の選択であった。また、近年は各団体の役員の担い手不足も課題になっている。

課題解決にむけて

コロナ禍を踏まえた“新しい日常”のなか、関係機関や各種団体との連携を図り、地域のニーズに応えられるように、幅広い世代の活動の活性化と人材（担い手）の育成に取り組んでいく必要がある。

芦田大谷砂留整備

「地域まちづくり計画推進事業」として2017年より整備をはじめました。今は地域まちづくり推進事業の「地域ぐるみの生活安全・環境事業」として、自治会連合会・ボランティア砂留守り隊・部会のメンバーで、作業活動を行っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、5月の「現地研修会」は残念ながら中止となりました。

本格的な整備作業は、11月1日（日）から3月14日（日）までの毎週日曜日の午前中に予定通り行われました。まずは、4番砂留の側道にかかる木の伐採と落ち葉や小石の撤去からはじまり、それと同時に4番砂留のうっそうと茂る草木を刈る作業へと…気の遠くなる整備ですが、一つ一つ安全を考慮しながら進めました。



↓ 4番砂留整備のようす



↓ 芦田中学校の生徒

また、11月には芦田中学校の女子生徒がボランティアで参加、12月には地域での社会貢献活動として芦田中学校の男子生徒が清掃作業に参加…慣れない手つきではありますが、ホウキやスコップで側道の落ち葉や小石を集めてくれました。この体験をとおして、地元有磨にある砂留に興味を持ってくれたら、とても嬉しいです。

天候不順で整備作業が2回中止になりましたが、大きなけがや事故もなく、またマスクをつけての作業は息苦しく大変でしたが、みなさんのご協力が無事に整備作業を進めることができました。

新規砂留の調査が始まりました！

今年度は通常の整備作業に加えて、新規砂留の調査が12月より始まりました。

岡山大学准教授の樋口先生と調査を進めたところ、2021年3月末現在で新たに195基の砂留が発見され、合計で202基の砂留が確認されました。



↓ 調査のようす